

昭和五十二年年度

施政方針

町長大井政則

昭和五十二年年度の当初に当り、私の町行財政に対する方針を申し上げ町議会及び町民各位の建設的な御意見を承りよりよい町政の吏をあげ本町発展と町民福祉の増進に鋭意努力いたす決意でございます。

昭和五十二年度は地方自治法が制定されて三十周年を迎える年に当っておりま

然し、それらの役割や使命を十分果たしていくためには地方財政を根幹から揺るがす、戦後最大の経済不況を乗り越え、持続的な安定成長路線に乗せ、財政基盤の確立を図ることが最も緊要な課題となっており、今や低成長時代にふさわしい着実な景気の回復こそが強く望まれているところであります。

国の予算は、このよ

うな観点から着実な景気回復と雇用の安定を図るため、公共事業関係充実を基調とした予算編成が行われており、一方地方財政に対しても景

れるところであります。とりわけ地方財政の圧迫となつてい

る一般公共事業、同

和对策事業、或は過

疎対策、労働四事業

等の超過負担の問題

今一つ用地取得に対

する補助対象除外が

大きく起因している

のであります。これ

らの解消は、産炭地

市町村が一体となつ

て県や国に向けて強

く要請しなくてはな

らない重大な課題の

一つであります。

このような背景の中

で迎えた本町の昭和

五十二年年度の予算

編成については内部

管理経費の節減と財

政の健全性を確保す

ることを基本として

住民生活に密着した

住民福祉を実現する

こととし、教育施設

土木施設、住宅等の

諸施設の整備を促進

すると共に企業誘致

の促進と失業対策事

業の円滑なる遂行等

財源の重点的配分を

基調とした施策をこ

うじて参りたい所存

でございます。

以上のような施策の

結果

昭和五十二年年度の

予算規模は一般会計

で歳入歳出とも二十

四億九百六十万四千

円と大型予算になり

前年度当初予算に対

し六三・四%の伸び

となったものであり

ます。

以下行政科目に従

って更に具体策を申

し述べてみたいと思

います。

住民福祉対策に

ついて

先ず、児童福祉対

策の施設(保育所)に

ついては御承知のよ

うに五十年度に二カ

所、五十一年度に一

カ所建設し、現在私

立施設を含めて四つ

の施設を有し四八〇

人の収容能力をもつ

ことができ、一応町

内措置児の保育権の

確保を見ることがで

きました。本年度は

いよいよ開園する宝

見保育所の育成指導

と母親の労働権保障

並びに保育の充実強

化に傾注して参りた

いと思っております。

次に老人対策の問

題ですが、現在社会

において放置され淋

しい生活をしている

一人暮らし或は、寝た

きり老人等に対して

積極的に援護措置を

進め、又医療の負担

制度の改悪等には、

強く反対し生きがい

を与えることに努力

したいと思ひます。

他に住民福祉の諸問

題についても町財政

の許す限り援助措置

を講じ福祉行政の充

実に努める所存であ

ります。

次に、住民の健康

管理の一環として懸

案でありました救急

医療対策について、

ようやく市、郡、町

村医師会間の意見の

一致を見まして本年

度、日曜日における

診療を目的として着

手することに先日な

りました。

完成後は引続き夜間

の診療業務を実施し

タライ廻し診療の解

消を計るべく積極的

に取り組み住民の不

安を一掃する考えで

あります。

次に、ガン対策と

して早期発見のため

集団検診を毎年実施

しておるところであ

りますが、受診率は

低調でありますので

本年度は、一層PR

の方法を工夫し住民

の認識を高揚させ、

ガンの撲滅に努力し

たい所存です。

その他健康管理に

ついては例年どおり

行い愛の献血推進、